

報告書

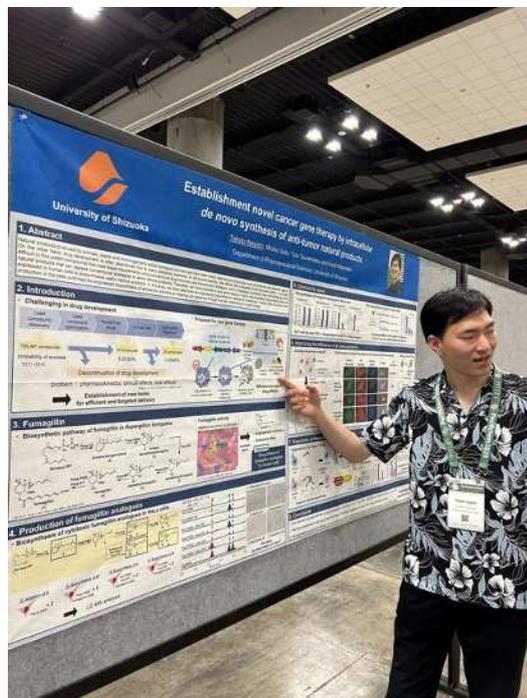
The 2025 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies

にてポスター発表

2025年12月15日から20日に、アメリカ・ハワイで開催された「The 2025 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies」に参加し、ポスター発表を行いました。本国際学術会議は、環太平洋地域を中心とする複数の化学関連学協会が共同で主催し、有機化学、無機化学、物理化学、材料科学、生命科学など、化学の枠を超えた分野横断的な研究成果について基礎から応用まで幅広く発表・議論する場です。私は、「Establishment novel cancer gene therapy by intracellular *de novo* synthesis of anti-tumor natural products (抗腫瘍天然物の細胞内 *de novo* 合成による新規がん遺伝子治療の確立)」というタイトルでポスター発表を行いました。本研究は、天然物生合成遺伝子をヒト細胞で発現させ、細胞自身に有用天然物を生合成させる新しい遺伝子治療法を目指したものとなっています。本発表では、がん細胞内での抗腫瘍天然物の *de novo* 合成に成功したこと、さらに期待通り、がん細胞の死滅を確認できたことを報告しました。

国際学会への参加は今回で2回目であり、これまでの経験を踏まえて十分な準備を行ったうえで本学会に臨むことができました。研究概要の説明では、自身の研究の新規性や独創性を的確に伝えることができたという手応えを得ました。一方で、ディスカッションにおいては、質問者の英語を理解することに苦労する場面も依然としてありました。しかしながら、質問者の方々が表現を言い換えてくださったり、こちらの回答を理解しようと努めてくださったりするなど、研究者間の温かく建設的な姿勢に支えられ、有意義な議論を行うことができました。

また、当該分野を代表する著名な研究者による講演を聴講する機会にも恵まれ、最新の研究動向や新たな視点に触れることができたことは、非常に貴重な経験となりました。本学会への参加を通じて得られた知見や刺激を今後の研究活動に活かすとともに、研究面でのさらなる向上に加え、国際的な研究交流に必要な語学力の強化にも一層努め、より充実した研究生生活を送っていきたいと考えています。



薬食生命科学総合学府 薬科学専攻
博士前期課程2年 生薬学講座
根岸 天都